

OBP クリニックだより

第 45 号 (2019 年 9 月号)

薬局のご紹介

9 月になりました。気象庁によりますと、関東以西の 9 月の平均気温は、平年並みか高い予想です。熱中症も、まだ油断できません。体調管理に気を配り、厳しい残暑を乗り切りましょう。

さて、今回の OBP クリニックだよりは、いつもと趣向を変え、当クリニックの薬局業務について、ご紹介したいと思います。普段、薬剤師が受診者の皆様と接するのは、お薬をお渡しする数分程度ですが、お薬を皆様に手渡すまでには、様々な過程があります。

皆様のお手元に渡るまでの、調剤の流れについて、当クリニック薬剤師より、ご説明させていただきます。

薬局より

当クリニックの薬局は現在 5 名の薬剤師が在籍し、常時 1~2 名で業務を行っております。薬局の仕事といえば、処方箋に書かれた薬を渡すこと、と単純作業を連想されることが多いですが、実際のところ、患者さんの手元に渡るまでには様々なプロセスがあります。

当クリニックは、紙カルテですので、受診後、投薬のある患者さんの処方箋をはさんだカルテが薬局に回ってきます。

私たちは、カルテに記載された記事を読み、どのような症状で受診されたのか、症状と処方合っているか、投与量に間違いはないか、数種類処方されている場合は併用しても構わない組み合わせか、また、患者さんに副作用歴のある処方されていないか、ご持参のお薬手帳により、過去にどのような薬を使用されていたのか、などを確認します。

これを処方鑑査と言います。

この時に処方に疑問がある場合は、医師に確認をします。

そして、処方箋の指示どおりに調剤を行います。

その後、ピックアップした薬と数があっているかをチェックします。

これを調剤鑑査と言います。

これらを行っている間に受付では会計入力をしており、調剤鑑査が済んだ頃にお薬の説明書が印刷されてきます。

この写真付きのお薬説明書と照らし合わせて、最終チェックを行います。

そして、患者さんをお呼びして投薬に至ります。

簡単な作業と思われがちですが、どの過程のチェックが抜けても大変な事態を引き起こすことになるため、気を抜かずに業務を行っております。

「出来合いの薬を袋に入れるだけなのに、何故こんなに待ち時間があるの？」と疑問に感じられるかもしれませんが、どうか暖かく見守っていただければ有難く思います。当クリニックの処方以外でもお薬の疑問があれば、どうぞ遠慮なくお声をおかけくださいませ。

調剤の流れを書き留めたところで、終わりが近づいてきました。

薬局業務は他にも数々ありますが、またの機会にいたしましょう。

10 月はピンクリボン月間です ~乳がん検診を受けましょう~

日本では女性が罹るがんのトップは乳がんであり、現在 12 人に 1 人が罹患していると言われています。乳がんは初期段階では自覚症状がないため、症状が出る時には進行がんになっていることが多いです。一方で早期に見つければ 10 人のうち 9 人は助かります。定期的に乳がん検診を受け、早期発見・早期治療をすることが重要です。

当クリニックでは、マンモグラフィー検査、乳腺エコー検査を実施しています。

【ご予約・お問い合わせ】 OBP クリニック 健診受付 : 06-6941-8687

医療法人財団医親会

OBP クリニック

(健診) 06-6941-8687

(外来) 06-6941-8693

(HP) <http://www.obp-clinic.jp>



◆ 診療科目

内科 (循環器・糖尿病・呼吸器・消化器・
肝臓・脳循環・腎臓)、
乳腺・甲状腺外科、眼科、皮膚科

